

編 修 趣 意 書

(教育基本法との対照表)

※受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
26-132	高等学校	外国語科	コミュニケーション英語 I	
※発行者の 番号・略称	※教科書の 記号・番号	※教 科 書 名		
183・第一	コ I・350	Perspective English Communication I NEW EDITION		

1. 編修の趣旨及び留意点		
<p>積極的に英語を使ってコミュニケーションをはかろうとする態度を育成し、これからの国際社会に生きる日本人として必要なコミュニケーション能力を養うことができるように配慮した。また、知性や教養を獲得し、自分を取り巻く世界に広く目を向けることができるように留意した。それらのために、さまざまな内容の題材や言語活動の場を豊富に提供すると同時に、言語材料を充実させることを基調として編修した。</p>		
2. 編修の基本方針		
<p>本書は、教育基本法第2条に示す教育の目標を達成するために、下記のような基本方針に基づいて編修した。</p> <p>(1) 各レッスンの題材は、知的で確かな教養となるもの、豊かな思考力や想像力をはぐくむもの、我が国および世界の文化への理解を促すものなどを中心に選定した。</p> <p>(2) さまざまな内容の題材を、各レッスンでできる限り多面的かつ横断的に展開することで、単に学習する材料を提示するのではなく、生徒が今後自ら学ぼうとするためのロードマップとなるよう努めた。</p> <p>(3) 「聞くこと」「読むこと」「話すこと」「書くこと」を有機的に関連づけ総合的に学習できるよう、各レッスンの本文を手がかりに、それと連携したさまざまな活動の場を提供する構成とした。</p> <p>(4) 設問等の指示を英語で示したり、聞いたり読んだりした内容を英語で答える問題を多く設けることにより、生徒が英語に触れ、英語を積極的に発する場を豊富に提供した。</p> <p>(5) 豊かなコミュニケーション活動を成立させるために、言語材料の充実をはかった。</p>		
3. 対照表		
図書構成・内容	特に意を用いた点や特色	該当箇所
Lesson 1 Flowers Across the Ocean	20世紀初頭、桜とハナミズキの贈答による日米の交流について知る(第1号)。	p.16-21
	アメリカに桜を贈るために汗を流した、20世紀初頭の日本人の取り組みを紹介した(第2号)。	p.16-21
	日米の社会の発展と相互交流を実現した人々のことを知る(第3号)。	p.16-21
	日米両国がそれぞれから贈答された桜とハナミズキを大切に扱ってきた事実に思いを巡らせる(第4号)。	p.16-21
	日本人の心に伝統的に根差している桜をアメリカに贈ることによって、両国の平和的関係が発展したことを知る(第5号)。	p.16-21
Lesson 2 We Can All Make a Difference	世界に存在する水問題について知る(第1号)。	p.28-35
	幼少時に自ら NPO を立ち上げ、現在も水問題に取り組む Ryan Hreljac 氏を取り上げた(第2号)。	p.28-35
	遠い異国であるアフリカの水問題に目を背けることはなかった氏の思いを感じる(第3号)。	p.28-35
	水問題を通じて、世界の環境問題にまで視野を広げる(第4号)。	p.28-35
	氏の取り組みがアフリカ諸国の水問題を解消することによって、そうした国の発展に寄与していることを知る(第5号)。	p.28-35

<p>Lesson 3 <i>Washoku</i> — Traditional Japanese Cuisine</p>	<p>無形文化遺産に登録された日本の和食について理解を深める (第 1 号)。 和食が無形文化遺産に登録されるように努力した日本人の苦勞を知る (第 2 号)。 和食が無形文化遺産に登録されたことで、日本が社会的盛り上がりを見せたことを知る (第 3 号)。 和食が日本の豊かな自然のおかげで発達してきたことを知る (第 4 号)。 和食という日本の伝統文化についてあらためて理解する (第 5 号)。</p>	<p>p.44-51 p.44-51 p.44-51 p.44-51 p.44-51</p>
<p>Lesson 4 “A Piece of Cloth”</p>	<p>世界的デザイナー三宅一生のもの作りにおける考えや生き方を知る (第 1 号)。 自らデザイン事務所を立ち上げ、その作品で人々を魅了し続ける三宅一生氏を取り上げた (第 2 号)。 道義的責任感から自らの被爆体験を公にし、世界平和を訴えた氏の思いについて考える (第 3 号)。 核兵器によって、今後人間の生命が失われることがないように訴えた氏の考えを知る (第 4 号)。 氏の服作りが東西文化の融合をもたらしていることを知る (第 5 号)。</p>	<p>p.58-67 p.58-67 p.58-67 p.58-67 p.58-67</p>
<p>Lesson 5 Malala Continues to Speak Out</p>	<p>女性の人権、とりわけ教育の問題について考える (第 1 号)。 女性の人権や教育問題に取り組む Malala Yousafzai 氏を取り上げた (第 2 号)。 パキスタンにおける女性の弾圧に真っ向から立ち向かった氏の正義の精神を知る (第 3 号)。 女性の人権や教育の問題をスピーチ等で訴えることにより、世界の社会的発展を目指している氏について知る (第 5 号)。</p>	<p>p.76-83 p.76-83 p.76-83 p.76-83</p>
<p>Lesson 6 Stonehenge — The Facts and Mysteries</p>	<p>世界遺産ストーンヘンジの謎を探求する (第 1 号)。 世界遺産ストーンヘンジの謎を解明するために努力する Mike Parker Pearson 氏の成果を取り上げた (第 2 号)。</p>	<p>p.90-99 p.90-99</p>
<p>Lesson 7 One Team, One Country</p>	<p>人権、とりわけ白人・黒人の人種問題について考える (第 1 号)。 南アフリカ共和国の民族融和のために必死に努力した Nelson Mandela 氏を取り上げた (第 2 号)。 南アフリカ共和国における黒人の弾圧に真っ向から立ち向かった氏の正義の精神を知る (第 3 号)。 人種問題を世界的に訴えることにより、世界の社会的発展を目指した氏について知る (第 5 号)。</p>	<p>p.108-115 p.108-115 p.108-115 p.108-115</p>
<p>Lesson 8 To Protect or To Develop?</p>	<p>遺産保護の是非について探求する (第 1 号)。 遺産保護に努める人、開発に重きを置く人のそれぞれの立場を取り上げた (第 2 号)。 遺産保護に努める人、開発に重きを置く人の双方がそれぞれの立場で社会の発展を考えている観点を知る (第 3 号)。 遺産保護に努める人の主張を十分に理解する (第 4 号)。</p>	<p>p.122-129 p.122-129 p.122-129 p.122-129</p>
<p>Lesson 9 Life in a Jar</p>	<p>第二次世界大戦下のホロコーストなどの問題に目を向ける (第 1 号)。 ユダヤ人を救うために自らの命を顧みずに努力した Irena Sendler 氏を取り上げた (第 2 号)。 ホロコーストに立ち向かった氏の正義の精神を知る (第 3 号)。 ホロコーストによって失われようとしていた子供の生命を助けた氏の取り組みを知る (第 4 号)。</p>	<p>p.138-145 p.138-145 p.138-145 p.138-145</p>

Reading A Test of True Love	はじめて出会おうとしている男女の心情の機微を読み取る (第1号)。	p.151-157
4. 上記の記載事項以外に特に意を用いた点や特色		
・学校教育法第 51 条 1 号「国家及び社会の形成者として必要な資質を養うこと」、また、第 3 号「社会について、広く深い理解と健全な批判力を養い、社会の発展に寄与する態度を養うこと」等の規定を踏まえ、各レッスンで紹介された人物や事象について、自分の立場であらためて考え、自らの考えや意見を表明する場である Over to You を各課末に設けた。		

編 修 趣 意 書

(学習指導要領との対照表, 配当授業時数表)

※受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
26-132	高等学校	外国語科	コミュニケーション英語 I	
※発行者の 番号・略称	※教科書の 記号・番号	※教 科 書 名		
183・第一	コ I・350	Perspective English Communication I NEW EDITION		

1. 編修上特に意を用いた点や特色

- (1) 英語による言語活動を行うことが授業の中心になるよう配慮した。
 - ・巻頭に **Let's Use English** を設け、授業中によく使われる **Classroom English** を掲載した。
 - ・設問等の指示文をすべて英語で記述した。
 - ・各レッスンには、**Part** 冒頭、側注部、**Listen & Answer** に英問を設置し、本文内容について英語で答える場を豊富に設けた。
- (2) 「聞く」「読む」「話す」「書く」の四領域が総合的かつ統一的に育成されるように、各レッスンの構成を次のようにした。
 - ・冒頭に、各レッスンの題材内容やテーマに関する英語を聞く **Listen Up** を設けた。本文の学習に入る前に、題材内容へのスキーマを活性化させることも意図した。
 - ・**Listen Up** に続いて、各レッスンの言語活動の中心・源泉となる本文を提示した。本文内容は、知的で確かな教養となるもの、豊かな思考力や想像力をはぐくむもの、我が国および世界の文化への理解を促すものなどとした。
 - ・内容のまとまりごとに概要や要点をとらえやすいように、本文はいくつかの **Part** に分割した。
 - ・本文の周辺に配置した設問は、本文で得た内容について、口頭であるいは書くことによって答えることを意図した。
 - ・**REPRODUCTION** には、本文内容のまとめ (**Summary**)、各レッスンの題材内容やテーマに関する会話を用いた活動 (**Dialogue**)、本文内容に関して自身の考えや感想を書いたり話したりする活動 (**Over to You**) を設けた。
 - ・**Dialogue** は、英語の音声の特徴を含む箇所、内容上重要な箇所、話者の意見や感想を含む箇所を聞いて書き取る練習としたが、話者の意見や感想を含む箇所は生徒自身のそれを答えることも可能である。
 - ・冒頭ページや本文ページには、写真や図版を大胆に配置した。内容の理解を補助するためだけでなく、それらが言語活動の中で積極的に用いられることも期待した。
- (3) 「聞く」技能と「読む」技能の育成に特化した活動を付録的に設置した。
 - ・**Listening Practice** では、聞いた情報や考えなどを理解したり、概要や要点をとらえるための指針として、「言語の使用場面」と「言語の働き」を有機的に結びつけた聞き取りの練習、聞き取りの視点に基づいた練習を設けた。
 - ・**Reading Skill** では、読んだ情報や考えなどを理解したり、概要や要点をとらえるための指針として、「つながりを示す語句」などの読みの視点に基づいた練習を設けた。
- (4) 言語材料の充実をはかると同時に、言語活動と関連づけて練習する場を豊富に提供した。
 - ・巻頭の **Get Ready** に、基本的な文の型についての説明を置いた。
 - ・各レッスンの **LANGUAGE AWARENESS** に、文構造・文法事項のまとめとその練習問題を設置した。
 - ・言語活動の活性化のために、活用形や派生語も含め、数多くの語いを中学校で学習したと想定される語いとみなした。また同様に、新出語についても十二分の数を用いた。
- (5) コミュニケーションにおける「音声」の重要性を認識させ、それに留意しながら活動させる場を設けた。
 - ・巻頭の **Get Ready** に、音声をを用いた練習方法のいくつかを紹介した。
 - ・**Listening Practice** において、音声上の特徴をまとめたコラムを設けた。
 - ・脚注部等で提示した語には音節を示し、発音記号も記した。

2. 対照表

図書の構成・内容		学習指導要領の内容	該当箇所	配当 時数
Let's Use English		(1)のア, (1)のイ, (2)のア	p.8~9	0.5
Get Ready		(1)のア, (1)のイ, (2)のア	p.10~13	1.5
Lesson 1	Listen Up 本文 Part 冒頭・側注部の英問, Listen & Answer 脚注語・連語 脚注文法例文 REPRODUCTION (Summary) REPRODUCTION (Dialogue) REPRODUCTION (Over to You) LANGUAGE AWARENESS	(1)のア, (2)のア, (2)のウ (1)のイ, (2)のイ, (2)のウ (1)のウ, (1)のエ 英語に関する各科目に共通する 内容等2のア 英語に関する各科目に共通する 内容等2のイ・ウ (1)のエ (1)のア, (1)のウ, (1)のエ, (2) のア, (2)のウ (1)のウ, (1)のエ 英語に関する各科目に共通する 内容等2のイ・ウ	p.15 p.16~21 p.16~21 p.16~21 p.16~21 p.22 p.23 p.23 p.24~25	7
Lesson 2	Listen Up 本文 Part 冒頭・側注部の英問, Listen & Answer 脚注語・連語 脚注文法例文 REPRODUCTION (Summary) REPRODUCTION (Dialogue) REPRODUCTION (Over to You) LANGUAGE AWARENESS	(1)のア, (2)のア, (2)のウ (1)のイ, (2)のイ, (2)のウ (1)のウ, (1)のエ 英語に関する各科目に共通する 内容等2のア 英語に関する各科目に共通する 内容等2のイ・ウ (1)のエ (1)のア, (1)のウ, (1)のエ, (2) のア, (2)のウ (1)のウ, (1)のエ 英語に関する各科目に共通する 内容等2のイ・ウ	p.27 p.28~35 p.28~35 p.28~35 p.28~35 p.36 p.37 p.37 p.38~39	8
Listening Practice 1		(1)のア, (2)のア 英語に関する各科目に共通する 内容等1の[言語の使用場面]およ び [言語の働き]	p.40~41	1.5
Lesson 3	Listen Up 本文 Part 冒頭・側注部の英問, Listen & Answer 脚注語・連語 脚注文法例文 REPRODUCTION	(1)のア, (2)のア, (2)のウ (1)のイ, (2)のイ, (2)のウ (1)のウ, (1)のエ 英語に関する各科目に共通する 内容等2のア 英語に関する各科目に共通する 内容等2のイ・ウ (1)のエ	p.43 p.44~51 p.44~51 p.44~51 p.44~51 p.52	8

	(Summary) REPRODUCTION (Dialogue)	(1)のア, (1)のウ, (1)のエ, (2)のア, (2)のウ	p.53	
	REPRODUCTION (Over to You)	(1)のウ, (1)のエ	p.53	
	LANGUAGE AWARENESS	英語に関する各科目に共通する内容等2のイ・ウ	p.54~55	
Lesson 4	Listen Up 本文 Part 冒頭・側注部の英問, Listen & Answer 脚注語・連語 脚注文法例文	(1)のア, (2)のア, (2)のウ (1)のイ, (2)のイ, (2)のウ (1)のウ, (1)のエ 英語に関する各科目に共通する内容等2のア 英語に関する各科目に共通する内容等2のイ・ウ	p.57 p.58~67 p.58~67 p.58~67 p.58~67	8
	REPRODUCTION (Summary)	(1)のエ	p.68	
	REPRODUCTION (Dialogue)	(1)のア, (1)のウ, (1)のエ, (2)のア, (2)のウ	p.69	
	REPRODUCTION (Over to You) LANGUAGE AWARENESS	(1)のウ, (1)のエ 英語に関する各科目に共通する内容等2のイ・ウ	p.69 p.70~71	
Listening Practice 2		(1)のア, (2)のア 英語に関する各科目に共通する内容等1の[言語の使用場面]および [言語の働き]	p.72~73	1.5
Lesson 5	Listen Up 本文 Part 冒頭・側注部の英問, Listen & Answer 脚注語・連語 脚注文法例文	(1)のア, (2)のア, (2)のウ (1)のイ, (2)のイ, (2)のウ (1)のウ, (1)のエ 英語に関する各科目に共通する内容等2のア 英語に関する各科目に共通する内容等2のイ・ウ	p.75 p.76~83 p.76~83 p.76~83 p.76~83	8
	REPRODUCTION (Summary)	(1)のエ	p.84	
	REPRODUCTION (Dialogue)	(1)のア, (1)のウ, (1)のエ, (2)のア, (2)のウ	p.85	
	REPRODUCTION (Over to You) LANGUAGE AWARENESS	(1)のウ, (1)のエ 英語に関する各科目に共通する内容等2のイ・ウ	p.85 p.86~87	
Lesson 6	Listen Up 本文 Part 冒頭・側注部の英問, Listen & Answer 脚注語・連語 脚注文法例文	(1)のア, (2)のア, (2)のウ (1)のイ, (2)のイ, (2)のウ (1)のウ, (1)のエ 英語に関する各科目に共通する内容等2のア 英語に関する各科目に共通する内容等2のイ・ウ	p.89 p.90~99 p.90~99 p.90~99 p.90~99	9
	REPRODUCTION (Summary)	(1)のエ	p.100	

	REPRODUCTION (Dialogue)	(1)のア, (1)のウ, (1)のエ, (2)のア, (2)のウ	p.101	
	REPRODUCTION (Over to You)	(1)のウ, (1)のエ	p.101	
	LANGUAGE AWARENESS	英語に関する各科目に共通する内容等2のイ・ウ	p.102~103	
Listening Practice 3		(1)のア, (2)のア 英語に関する各科目に共通する内容等1の[言語の使用場面]および [言語の働き]	p.104~105	1.5
Lesson 7	Listen Up 本文 Part 冒頭・側注部の英問, Listen & Answer 脚注語・連語 脚注文法例文	(1)のア, (2)のア, (2)のウ (1)のイ, (2)のイ, (2)のウ (1)のウ, (1)のエ 英語に関する各科目に共通する内容等2のア 英語に関する各科目に共通する内容等2のイ・ウ	p.107 p.108~115 p.108~115 p.108~115 p.108~115	9
	REPRODUCTION (Summary)	(1)のエ	p.116	
	REPRODUCTION (Dialogue)	(1)のア, (1)のウ, (1)のエ, (2)のア, (2)のウ	p.117	
	REPRODUCTION (Over to You)	(1)のウ, (1)のエ	p.117	
	LANGUAGE AWARENESS	英語に関する各科目に共通する内容等2のイ・ウ	p.118~119	
Lesson 8	Listen Up 本文 Part 冒頭・側注部の英問, Listen & Answer 脚注語・連語 脚注文法例文	(1)のア, (2)のア, (2)のウ (1)のイ, (2)のイ, (2)のウ (1)のウ, (1)のエ 英語に関する各科目に共通する内容等2のア 英語に関する各科目に共通する内容等2のイ・ウ	p.121 p.122~129 p.122~129 p.122~129 p.122~129	9
	REPRODUCTION (Summary)	(1)のエ	p.130	
	REPRODUCTION (Dialogue)	(1)のア, (1)のウ, (1)のエ, (2)のア, (2)のウ	p.131	
	REPRODUCTION (Over to You)	(1)のウ, (1)のエ	p.131	
	LANGUAGE AWARENESS	英語に関する各科目に共通する内容等2のイ・ウ	p.132~133	
Listening Practice 4		(1)のア, (2)のア 英語に関する各科目に共通する内容等1の[言語の使用場面]および [言語の働き]	p.134~135	1.5
Lesson 9	Listen Up 本文 Part 冒頭・側注部の英問, Listen & Answer 脚注語・連語 脚注文法例文	(1)のア, (2)のア, (2)のウ (1)のイ, (2)のイ, (2)のウ (1)のウ, (1)のエ 英語に関する各科目に共通する内容等2のア 英語に関する各科目に共通する	p.137 p.138~145 p.138~145 p.138~145 p.138~145	9

	REPRODUCTION (Summary)	内容等2のイ・ウ (1)のエ	p.146	
	REPRODUCTION (Dialogue)	(1)のア, (1)のウ, (1)のエ, (2) のア, (2)のウ	p.147	
	REPRODUCTION (Over to You)	(1)のウ, (1)のエ	p.147	
	LANGUAGE AWARENESS	英語に関する各科目に共通する 内容等2のイ・ウ	p.148~149	
Reading	本文 Part 冒頭・側注部の英問, Listen & Answer 脚注語・連語	(1)のイ, (2)のイ, (2)のウ (1)のウ, (1)のエ	p.151~157 p.151~157	10
	REPRODUCTION (Summary)	英語に関する各科目に共通する 内容等2のア (1)のエ	p.151~157 p.158~159	
Listening Practice 5		(1)のア, (2)のア 英語に関する各科目に共通する 内容等1の[言語の使用場面]およ び [言語の働き]	p.160~161	1.5
Reading Skill 1		(1)のイ, (2)のイ, (2)のウ	p.162~163	1.5
Reading Skill 2		(1)のイ, (2)のイ, (2)のウ	p.164~165	2
Reading Skill 3		(1)のイ, (2)のイ, (2)のウ	p.166~167	2
Reading Skill 4		(1)のイ, (2)のイ, (2)のウ	p.168~169	2
Reading Skill 5		(1)のイ, (2)のイ, (2)のウ	p.170~172	3
List of Phrases		英語に関する各科目に共通する 内容等2のア	p.173	
List of Words		英語に関する各科目に共通する 内容等2のア	p.174~183	
			計	105